学校番号	３２３

令和３年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	＜体育＞ サッカー バレーボール	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「現代高等保健体育　改訂版３０４」　（大修館書店）						
副教材等	「現代高等保健体育ノート　改訂版３０４」　（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

・心身の健全な育成をはかり、スポーツの楽しさ、身体活動の爽快さを学習するとともに、ルールを遵守する姿勢を学び、習得する。
・心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活で生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現をめざして、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。
評価方法	受講態度の観察	レポート	技能観察 技能テスト	レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1								
	サッカー	・オリエンテーション ・ドリブル ・パス ・シュート ・ディフェンス・パス、ドリブル、シュート ・ミニゲーム	○	○		○	a:主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。健康・安全を確保し、体力・技能・運動能力の違いに配慮しようとする。 b:自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができる。 d:それぞれの技術には、技能の向上につながる重要な動きのポイントがあること、それらを高めるための安全で合理的な練習の仕方があることを理解できる。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト
1学期	水泳	・背泳	○	○	○	○	a: 健康・安全を確保している。 b: 仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 c: 背泳ぎの基本的な技術を身につけている。 d: 水泳の技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。	出席状況 受講態度 実技テスト

2学期	バレーボール	・リーグ戦	○	○	○	○	a: 健康・安全を確保している。バレーボールに関心をもつとともに、学習を主体的に取り組もうとしている。プレイやジャッジに対して公正な態度を大切にしようとしている。 b: 自分やチームの特徴を踏まえた練習方法を選んでいる。仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 c: 基本的な技術を身につけている。 d: バレーボールの技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。課題解決の方法について、理解したことを言ったりしている。ルールや審判の方法について、学習した具体例を挙げている	出席状況 受講態度 実技テスト 試合結果

	サッカー	・少人数グループでの攻防 ・リーグ戦	○	○	○	○	a: 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。健康・安全を確保し、体力・技能・運動能力の違いに配慮しようとする。与えられた役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 b: 仲間と教え合うなどの活動の仕方、健康・安全の確保の仕方などを自己や仲間の課題に応じて新たな学習場面で適用したり、応用したりする。 c: 状況に応じたボール操作と、空間を埋めるなどなどの連携した動きによって、空間への侵入などから攻防を展開する。 d:ルールの理解、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解しチームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	出席状況 受講態度 試合結果
3学期	自由選択	・男女合同で自由選択種目を行う	○	○	○	○	a: 健康・安全を確保している。 b: 仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 c: 基本的な技術を身につけている。 d: スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。	出席状況 受講態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。